

事務局便り

第100号（令和4年12月）

【英霊に敬意を！日本に誇りを！】

近畿偕行会

巻頭言

10月、11月は2大慰霊行事を実施しました。武漢ウィルスはまだ完全には撲滅し得ていませんが、感染防止対策を完全にし、直会を復活、例年にも増して盛大に実施できたものと思料します。また各地にて慰霊行事が行われ、可能なものには会員代表が参加させて頂きました。

さて、年齢と共に時の経つのがことの他速く感じられ、今年も早や師走を迎え、会員各位におかれましては、そろそろ新春を迎える準備を始められる頃かと拝察いたします。

武漢ウィルスの残渣、中共による脅威等国難下ではありますが、来る令和5年が皆様にとり、明るい良き年になりますようご祈念申し上げます。

（加賀本）

案内事項

令和5年1月理事会案内

令和4年度第3回理事会は、1月26日（木）

16:00～17:00で開催を予定しております。理事の方には、別途ご案内致します。

万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようご案内申し上げます。

また、その後18:00からは歴史研究会を実施します。

なお、出欠のご連絡は、1月21日（金）までにご連絡ください。

Tel. : 078-952-3063 携帯 : 090-3844-3296

Mail : dfqk007@kcc.zaq.ne.jp

担当 熊谷

12月度・令和5年1月度歴史研究会

12月・令和5年1月度は、以下で予定しております。何方でも参加できます。また、ライフワーク等の研究発表の場としても大いにご活用下さい。

場所は、神戸大学凌霜クラブ(06-6345-1150)
大阪駅前第1ビル11階南側です。

多くの方のご参加をお待ちしております。参加を希望される方は、食事準備の都合もありますので、**4日前までに**加賀本までご連絡ください。必要費用は、軽食会食費代で3000円程度（12月度は忘年会で6000円）です。申し訳ありませんが、**直前4日以内のキャンセルについては、軽食費用を申し受けます。**

【メール通信者には後日、資料を送付します。それ以外の方で欲しい方は、メールアドレスをお知らせ下されば送付します。】

担当 加賀本

Tel : 072-785-8954 携帯 090-1241-8877

Mail : akio@room.ocn.ne.jp

12月度

日時：12月22日(木) 17時30分～21時

内容：映画「The Real Story of JA.6」

Epock TV（大紀元）（1:42:17）2022年10月15日公開の作品です。

田川顧問に担当して頂きます。

あの日（2021年1月6日）アメリカ議会議事堂で何がおこったのか、の特別調査報告。当日の実際の録画と関係者のインタビューで構成したリアルストーリー。アメリカ民主党政権は、日本の真珠湾攻撃に比す大事件として、前大統領トランプに全責任を負わせようとしている事件の真実のドキュメンタリーです。アメリカの現実の姿、我が国の現状、大いにディスカッションしましょう
今月度は、終了後忘年会を計画します。

1月度

日時：1月26日(木) 18～20時

内容：『中国臓器移植の真実』野村旗守編、SMG ネットワーク監修

2021年3月15日 集広社刊

中共政府は生きた人間から臓器を摘出している。脳死による臓器移植も、「生きたまま」の摘出と同じ。中共の残虐行為を止めるとともに、霊的真相を知る必要がある。中共メディアが、昨年亡くなった中共国民100万人あたり、臓器を提供したのは3人だったことを報じている（3日付 Record China）。

記事によれば、臓器提供希望者は増えているものの、実現した臓器提供は4080例であり、死亡した国民100万人あたり2.98にとどまったという。

だが、これはあくまで中共政府が公表できる“正式”な数値であろう。中共では違法な臓器売買が横行しているが、それは個人や組織によるものだけではない。中共政府自らが“率先”して進めている犯罪的な行為がある。

中共の臓器の強制収奪について日本が如何に中共に支配されて後進国になり下がっているかにあきれ返っています。

大いにディスカッションしましょう。

令和4年度会費納入のお願い

会費は、近畿偕行会を維持し、活動を円滑かつ効果的に運営するための軍資金です。

本年度会費未納の方は、当会の財政的窮乏をご明察の上、**9月6号に同封**しておりました「近畿偕行会（00900-6-29358）用「払込取扱票」にて、メール連絡会員の方は、**近畿偕行会（00900-6-29358）宛に**、振込みの程、宜しくお願い致します。

担当 加賀本

会員増勢のお願い

ご遺族・戦友が亡くなられて行く中、戦没英霊慰霊の灯を消してはなりません。国のため命を捧げた英霊に対する感謝を忘れ、祖国への誇りを持て

ない国民、その国は亡びると言います。

本会も令和3年度末で、会員数は120名を割り込みました。

「英霊に敬意を！日本に誇りを！」をモットーとする崇高な使命を有する近畿偕行会を潰してはなりません。何としても盛り上げねばなりません。解決策は、一に、会員の増勢を図る他ありません。◎帝国陸軍関係会員の皆様には、ご子弟、お孫さんを家族会員に！！

◎自衛隊OB会員の皆様には、同期生・後輩を正会員に！！子弟を家族会員に！！

◎本会の趣旨に共鳴する、身近にいる、志ある草莽の士を発掘し、賛助会員に！！

ご協力を衷心よりお願い致します。情報を頂ければ、事務局で対応いたします。

担当 加賀本

報告事項

第14回特攻勇士慰霊祭

10月23日（日）11：00から第14回特攻勇士慰霊祭を大阪護国神社に於いて厳かに執り行いました。

当日は絶好の秋晴れとなり、青空天井、爽やかな日差しを浴びながらの祭礼となりました。

祭礼は、関係団体・理事・近畿偕行会会員有志等多くの方のご出席を頂き、盛大な慰霊行事を実施する事が出来ました。



厳粛なる神事

また、中部方面音楽隊の初参加を得て隊長伊東札記2佐指揮による盛大な慰霊演奏も実施し得て、ご英霊を十分にお慰めでき、ご参加できなかった方々の思い入れも込めた例年以上の盛大な慰霊行事になったものと思料します。



伊東隊長指揮による中部方面音楽隊の演奏
その後4年振りに直会を復活実施し、久々の歓談で盛り上がりました。

残念な事です、例年参加いただいていた石頭予備士官学校出身の荒木正則様は、10月10日享年98歳でご逝去され、お姿が拝見できず寂しい事でした。心からご冥福をお祈りいたします。

また会場の準備・撤収作業に於いては大阪護国神社の皆様、受付業務に於いては「あさなぎ」の皆様にご多大のご支援を頂き感謝申し上げます。

また、ご参加できなかった方々からも多くの志納金を賜り心より御礼申し上げます。

担当 加賀本・熊谷（写真提供：岸岡サトミ様）

令和4年度パール判事顕彰献花祭

11月26日（土）令和4年度パール判事顕彰献花祭を京都霊山護国神社に於いて実施しました。インド側は在大阪・神戸インド総領事・領事の交代時期と重なり参加はありませんでしたが、京都府偕行会・近畿偕行会各会長及び各会会員有志等

の参加を得て盛大に催行しました。

終了近くに時雨もありましたが、秋晴れの寒気もキリッとした心地良き日の中での実施となりました。

まず、11:00から本殿に於いて大東亜戦争と共に戦った我が皇軍・インド国民軍の戦没英霊及び昭和殉難者法務死英霊に対する慰霊と感謝の誠を捧げる「戦没英霊慰霊祭」を挙行了しました。



慰霊祭後本殿前にて

事後、特攻勇士慰霊像参拝、11:30から顕彰碑前でパール判事に感謝を捧げると共に我が祖国日本の弥栄を祈念し、参加者全員による献花を実施しました。



献花後顕彰碑前にて

なお、直会も計画していましたが、会場の都合により残念ながら中止としました。

また、ご参加できなかった方々からも多くの志納金を賜り心より御礼申し上げます。

担当 加賀本・熊谷（写真提供：岸岡サトミ様）

会外行事参加報告・紹介案内

参加報告

中部方面隊創隊62周年記念行事

陸上自衛隊中部方面隊の創隊62周年記念行事が10月2日伊丹駐屯地で実施されました。

当日は秋晴れの好天、しかも駐屯地を一般開放しての開催は3年振りで、待ち兼ねていた観客は1万6千人を越えました。

隊員たちの精強ぶりは変わらず、観閲行進や迫力ある訓練展示に観客は拍手喝采、大満足の態でした。また、行事の様子は動画投稿サイト「ユーチューブ」でも中継されました。



迫力満点の訓練展示

本会から、加賀本、熊谷、西川、有馬の4名が参加しました。

担当 加賀本（写真提供：陸自中方広報室）

樋口季一郎将軍銅像除幕式

樋口季一郎中将の功績を称える銅像が、命日に当たる10月11日、故郷・淡路島の伊弉諾神宮に建立され、除幕式が行われました。高さ1.7mの等身大。軍服で軍刀を手にする雄々しき姿です。樋口季一郎中将は、第5方面軍司令官として8月15日以降のソ連の理不尽な千島・占守島攻撃を撃退し、北海道、ひいては日本の分断を救ったのを第1の功績として、満州での数千人のユダヤ難民救出、キスカ島からの見事な撤収作戦等数々の功績を残された勇将・聖将である。



軍服・軍刀佩刀の雄々しき姿

因みに建立された伊弉諾神宮は、神代の時代に創祀されたと伝わる日本でもっとも古い神社とも言われ、淡路国一宮。旧社格は官幣大社です。

本会から、余田大先輩（陸士59期）、加賀本、熊谷、久野、岸岡女史の5名が参加しました。

担当 加賀本（写真提供：岸岡サトミ様）

真田山陸軍墓地秋季慰霊祭

10月22日（土）10：30から真田山陸軍墓地に於いて秋季慰霊祭が行われました。遺族や自衛隊関係者等約200人が参列し、国の平和と繁栄の礎となった戦没英霊に哀悼の祈りが捧げられました。本会から盛田理事が代表参加しました。なお、真田山陸軍墓地は、明治4年に設けられた我が国最古かつ最大の陸軍墓地です。

担当 盛田

全国ソロモン会関西支部慰霊祭

11月12日（土）大阪護国神社に於いて全国ソロモン会関西支部慰霊祭が実施されました。大東亜戦争中、ガダルカナル島初め激戦のソロモン諸島方面で戦没された英霊に対し、慰霊と感謝の誠を捧げました。当会から会長、事務局長、小山みどり理事が参加しました。

因みに、全国ソロモン会は、ソロモン諸島方面の戦域に従軍した陸軍第17軍隷下各部隊、海軍第8艦隊隷下の各部隊等の生存者と遺族、その他有志を中心に、昭和40年10月24日（ガダルカナル島ルンガ飛行場奪回のため第2次総攻撃敢行の日）に結成された戦友会です。

現在靖国神社初め各地における慰霊祭、現地における国際交流や慰霊巡拝、遺骨調査・収容活動への協力を行っており、当会と志を同じくする友好団体です。

担当 加賀本

陸上自衛隊八尾駐屯地記念行事

11月20日（日）、陸上自衛隊八尾駐屯地に於いて、八尾駐屯地創立68周年、中部方面航空隊創設60周年記念行事が実施されました。

予報の雨も直前には上がり、日差しも出る絶好の記念日和となり、観閲飛行初め予定通りの行事が実施されました。CH47ヘリや戦車試乗も実施され、家族連れで大いに賑わっていました。

当会から会長と事務局長が参加しました。

担当 加賀本

関西安全保障セミナー

11月23日（水）、関西安全保障セミナーがホテルKKR大阪に於いて開催されました。

「迫りくる台湾危機、そのとき日本は」と題して、全統合幕僚長：河野克俊氏、軍事評論家：井上和彦氏、高橋忠義氏の3氏による熱のこもったトーク、

懇親会による歓談等有意義な会合となりました。

当会から会長、小山理事が参加しました。

担当 加賀本

案内

今期は特にありません

担当 加賀本

和歌山偕行会便り

『日米安保とオフショアバランスイニング??』
ウクライナ紛争勃発から半年が過ぎました。紛争勃発の歴史的経緯や紛争が及ぼす様々な影響が明らかになりつつあります。

紛争の本質は、ロシア・ウクライナ両国の安全保障上の闘いであり、この紛争を現象面で捉えれば、「ロシアのウクライナに対する一方的な主権侵害」です。それでは、米国はこの紛争にどう関わったのでしょうか？

紛争前から、CIAやネオコン・ネオナチがゼレンスキー政権の中枢に浸透していたと云われます。そして、情報戦で「ロシアのウクライナへの武力侵攻」があり得るとしながらも、それに積極的にコミットしないと喧伝しました。米国がこの紛争を阻止しようと思えば出来たのです。他方、プーチンは、ウクライナのNATO化を警戒していましたから、米国の様子を伺い乍らも「武力侵攻」を決断しました。

（トランプが大統領であれば、侵攻はしなかったと推測されます。）恐らくは、当初、2014のクリミア併合の様な早期決着を目指しのですが、泥沼化を余儀なくされました。

それは、NATO・米国が軍事介入せず、武器支援に終始したからです。この米国の在り方を「オフショアバランスイニング」と云います。

ロシアとウクライナ当事者間で戦わせ、労せずして武器の消耗戦で産軍複合体を儲けさせる実に巧妙な戦略理論です。

これらの結果、世界はどの様な影響を受けたのでしょうか？原油・天然ガス、小麦等の価格が高騰し、経済のブロック化が進み、我々庶民生活にも深刻な影響が出ています。

SWIFTやペトロダラー制の優位性を脅かす事態にしてまで、米国はこの紛争を許し、継続するのが妥当だったのか疑問に感じます。

11月の米国中間選挙で、民主党が大敗するようなことがあれば、「英国のジョンソンも米国のバイデン」もプーチンに返り討ちにあったとしか云いようがありません。日本はウクライナの轍を踏まない様に、米国との同盟関係深化に知恵を絞る必要があります。

『安倍総理の国葬について！？』

安倍総理の国葬について、マスコミは賛否両論の論陣を張っています。

最近、村田良平回想録を読んでいて、つくづく国葬は妥当だと実感しました。

村田良平氏は、岡崎久彦氏と外務省入省同期生であり、外務省切っ手の逸材で駐米大使も務めました。回想録の中で、湾岸戦争前後の日本の国威の失墜を冷静に分析しています。

湾岸戦争で多大なる資金援助はしたものの、派兵と云う身を切る様な国際貢献が出来ないと国際的に酷評された悔しい思い出が蘇ります。

安倍総理の果たした集団的自衛権行使の法制化や扱いにくいトランプ大統領と折り合いをつけ新国際秩序の構築にご尽力された功績は、正に国葬に値するものと評価するのが「世界の常識」ではないかと思うのです。

担当：奥野

編集後記

いよいよ冬を迎えます。武漢ウィルス禍も未だ完全には克服し得ていない状況でもあり、ご高齢者の多い当会の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

本年のご協力を感謝申し上げますと共に、御家族揃って素晴らしい新年をお迎え下さい。

来年もご協力の程よろしく願いたします。

担当 加賀本

【余白雑感】

『最近の新聞記事から』

私の購読している産経新聞掲載の、以下の記事か

ら、歩みは鈍いがやっと我が国も普通の国に近づいて来たかなと思うこの頃です。（加賀本記）

『有事訓練 最多30府県（10月30日朝刊）』
他国による武力侵攻や大規模テロなどを想定し、住民の避難手順などを確認する平成16年に施行された国民保護法上の共同訓練を国と共に実施する都道府県が今年度、過去最多の30府県にのぼることが分かったとの事。

しかしながら、地域住民が訓練に参加せず国や自治体職員らが住民役を担うケースが大半で、実際の有事の際に効果があるかどうかは不透明という。ともあれ、今まで放置されていた分野に自治体も前向きに取り組み出した事は喜ばしく、一般国民・住民への意識改革・啓蒙にはなるでしょう。

『防衛強化に5年48兆円（11月3日朝刊）』
防衛省は令和5年から5年間を対象とした「中期防衛力整備計画」に盛り込む経費を総額48兆円前後と見積もっているとの事。

先に表明された防衛費を「国内総生産(GDP)比2%にする」を念頭に置いたものでしょう。

これも遅きに失した感だが、喜ばしい事だ。

海上保安庁予算等算入等姑息な手段を弄する事無く、しっかりと確保して欲しいものです。

やっと「有識者会議の報告書」も出たようですが、それだけでなく、どうにか間に合ってくれ！との切ない気持ちなのだから・・・

近 畿 偕 行 会

会 長 加賀本 昭雄

編集責任者 熊谷 勉

〒651-1513 神戸市鹿の子台北町3-1-4-201

Tel & Fax:078-952-3063

編集委員 加賀本 昭雄

〒664-0012 伊丹市緑ヶ丘2-97

Tel:072-785-8954

